

カラット CARAT滋賀☆女性の活躍の加速化に向けた取組

【事業実施主体】

滋賀県

【連携団体】

1. 滋賀県商工会議所連合会
一般社団法人滋賀経済産業協会
2. しが女性リーダーネットワークSWAN

【目的】

滋賀県では、女性の労働力率のM字カーブが深く、女性管理職比率も低いなど、女性の能力が十分発揮されていない状況にある。

埋もれている女性の能力が社会で発揮され、本県の地域・経済が活性化するという好循環を生み出すことが求められており、女性の活躍を加速化するための施策を重点的に行う必要がある。

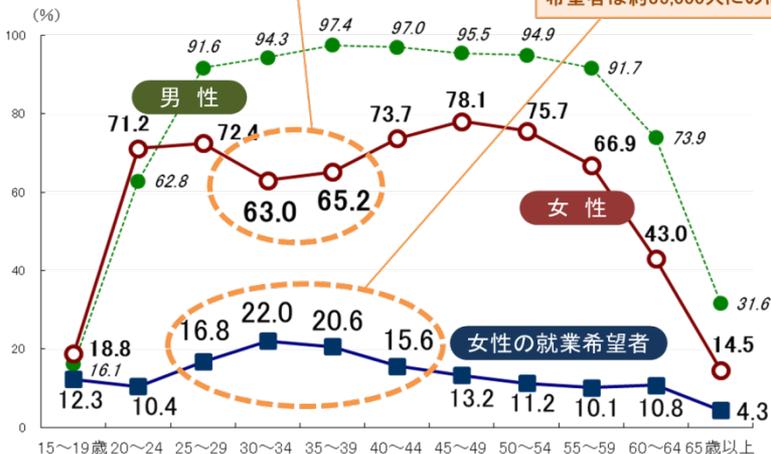
そこで、企業における女性活躍推進の取組促進、女性の起業等へのチャレンジ支援に資する事業の強化を図る。

【主な取組】

1. 企業における女性の活躍推進
 - (1)女性のキャリアアップ支援事業
 - (2)中小企業の活性化と女性活躍推進を考えるセミナー開催事業
 - (3)企業における女性活躍状況の見える化研究事業
2. 女性の起業等へのチャレンジ支援
 - (1)女性のチャレンジシンポジウム開催事業
 - (2)女性チャレンジ・フォローアップカフェ事業

滋賀県は、女性の労働力率のM字カーブが深い。

多くの女性が就業を希望
(滋賀県の25～44歳の女性では、希望者は約35,000人にのぼる)



事業実施概要

1. 企業における女性の活躍推進

(1)女性のキャリアアップ支援事業

管理的職業従事者の拡大につなげていくため、県内企業で中堅社員として活躍している女性を対象に研修会を開催した。

【日程】

第1回目 平成26年10月21日(火)、22日(水)

第2回目 平成26年11月20日(木)、21日(金)

第3回目 平成27年1月15日(木)、16日(金) 合計83人参加



(2)中小企業の活性化と女性活躍推進を考えるセミナー開催事業

県内企業の経営者層を対象に、企業における女性の活躍を進めるためセミナーを開催した。

【内容】

平成26年9月3日(水)13:30～16:00

(於: 県立男女共同参画センター)

講演「女性活躍とは何か？」

女性活躍の企業メリットと推進のポイント」

講師: 麓 幸子氏(日経BPヒット総合研究所長・

執行役員・日経ウーマン前編集長)

【参加人数】 合計 97人



(3)企業における女性活躍状況の見える化研究事業

企業、経済団体、有識者、県などで構成する研究会を設置し、「(仮称)女性活躍推進企業認証制度」制定に向けた「見える化チェックシート」の原案を作成した。

【内容】

第1回[平成26年6月26日(木)]

- ・女性活躍推進に向けた取組状況
- ・研究会での検討内容

第2回 [平成26年9月11日(木)]

- ・自社における女性活躍の状況を把握するためのチェック項目検討

第3回[平成26年10月31日(金)]

- ・チェック項目の検討
- ・「(仮称)女性活躍推進企業認証制度」の基準の検討

第4回[平成27年2月9日(月)]

- ・チェック項目の確認
- ・「(仮称)女性活躍推進企業認証制度」の基準の検討

事業実施概要

2. 女性の起業等へのチャレンジ支援

(1) 女性のチャレンジシンポジウム開催事業

起業等にチャレンジする女性やその支援機関等の関係者が一堂に会し、起業やコミュニティビジネス、NPO活動など多様な形の社会参画ができるよう応援するシンポジウムを開催した。

【内容】

平成27年2月21日(土) 10:30～16:30

・基調講演

「輝く私のチャレンジ・ストーリー
～周りの人も笑顔に～」

講師: 奥谷 京子 氏

(WWB ジャパン代表)

・パネルディスカッション

・ワールドカフェ

・チャレンジ相談

合計61人参加



(2) 女性チャレンジ・フォローアップ カフェ事業

起業等のチャレンジに一步踏み出した女性に対して、ロールモデルからのアドバイスや情報提供をする交流会を開催した。



【内容】

第1回[平成26年11月29日(土)]

・契約などの法律問題・効果的な広報
アドバイザー 湯坐麻里子氏(弁護士)
ロールモデル 石本 恵津子氏

第2回[平成26年12月18日(木)]

・私のライフデザイン・私流のチャレンジ
アドバイザー 山田 真由子氏
(キャリアコンサルタント)

ロールモデル 増山 いづみ氏

第3回[平成27年3月7日(土)]

・起業の諸手続き・私流のチャレンジ
アドバイザー 武村陽子氏(行政書士)
ロールモデル 清水 千秋氏

事業効果

1. 企業における女性の活躍推進

○セミナーを開催することで、女性社員のリーダーとしての資質や意欲の向上を図り、今後のキャリアについての意識啓発ができ、経営者に対しても女性活躍に取り組む意義の理解促進が図れた。

○女性活躍状況の見える化研究会では、女性活躍推進の取組促進に効果的な手法として、「(仮称)女性活躍推進企業認証制度」の設計を行い、制度の根幹となる「女性活躍状況見える化チェックシート」(自社の取組状況が把握できるシート)の原案を作成することができた。

2. 女性の起業等へのチャレンジ支援

○シンポジウムで起業等に関心を持つ女性や既に一步踏み出した女性をはじめ、支援機関を含めた関係者が一堂に会し、女性の様々なチャレンジを応援する気運の醸成を図ることができた。

○フォローアップカフェにより、女性のチャレンジ支援のきめ細やかなサポート体制づくりのヒントを得た。

今後の課題

○企業における女性活躍を進めるためには、県と経済団体が連携して経営者や男性管理職に対する女性活躍の必要性の理解の促進や啓発に取り組んでいく必要がある。

○経済団体との連携を深め、セミナー企画にさらなる工夫が必要である。

○特にロールモデルが少ない職種ごとのネットワークづくりの支援について検討する必要がある。

○中小企業における女性活躍推進の自主的な取組を促進するため、企業における女性活躍状況の見える化研究事業で検討した認証制度について、今後、制度として構築し、効果的な周知・普及に取り組む必要がある。

○女性の起業等へのチャレンジにおいて、一步踏み出した後も事業を実現できるところまでのきめ細やかなフォローやチャレンジした女性同士のネットワークづくりが重要であることから、今後も継続的な支援が行えるよう、多様な支援機関との連携を図りながら、効果的な支援体制づくりを進める必要がある。